

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策	
重点課題	重点目標	評価指標・活動計画	評価	学校関係者の意見		
〔1〕 特色ある学校づくりの推進と、「開かれた学校づくり」の推進	* 体験活動と国際理解教育の推進 * ホームページや学年だよりの充実による積極的な情報発信	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「心・力・夢を育てる中高一貫教育」を実現するため中高での連携をさらに密にし、特色を出していく必要がある。 ○「地域に開かれた学校づくり」をさらに推進し、地域・保護者との連携をより一層深めていく必要がある。 <p><方策></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒に学校紹介動画を作成させるなど、生徒の力も活用しながら、特色を出していく。 ○学校関係者の意見、保護者・生徒アンケート結果を尊重し、様々な教育活動の改善を図る。 ○様々な行事にできるだけ多くの保護者や地域住民に来ていただけるよう、積極的に広報していく。 	
		①適切な体験活動（自然体験、文化体験等）を行うとともに、生徒が学校行事や体験活動に積極的に取り組むように指導する。また、生徒の国際理解を進める教育活動を行う。	①<保護者アンケート>「学校は適切な体験活動ができている」95.7%（R5：88.7%、R4：80.0%） <生徒アンケート>「学校行事や体験活動に積極的に取り組んでいる」89.2%（R5：89.8%、R4：90.7%） <保護者アンケート>「学校は生徒の国際理解を進める教育活動ができている」82.7%（R5：66.1%、R4：62.2%）	A		
		②ホームページへのアクセス数年間12万件以上。	②ホームページへのアクセス数は年間12万件以上の見込み。	A	<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートでは、「学校は学校行事や授業参観等、保護者が参加できる機会を適切に設けている」が95%（昨年度88%）、「学校は保護者と協力して教育活動を行っている」が81.3%（昨年度76%）と増加した。今後も学校行事等に保護者が参加できる機会を設け、学校・保護者が一体感を持って、生徒のよりよい成長に向けて協力していく雰囲気を醸成していく。 ・「学校は学校生活の様子を学年だより等で適切に伝えている」94.2%（昨年度90%）「学校は保護者に学校行事の様子をホームページ等で適切に伝えている」91.4%（昨年度84%）についても増加した。今後も積極的に発信していく。 ・生徒アンケートで昨年度初めて実施した項目「富岡東中学校に入学してよかったです」は、昨年度と同じ約93%の生徒が肯定的意見であった。今後も生徒が充実した学校生活を送ることができるよう支援していく。 	
		③学年だよりを各学年で年間11回以上発行。	③各学年で学年だよりを年間11回以上発行予定。	A		
		活動計画	活動計画による実施状況			
		・体験活動で地域と連携し幅広い社会的視野と国際性を育てる。 ・ホームページや学年だよりで学校行事や部活動の状況等の取組を積極的に発信する。 ・学校行事や授業参観等、保護者が参加できる機会を適切に設ける。	・1年生の自然体験学習、2年生の修学旅行、その他文化体験活動などを実施することができた。8月に3年生が業者を介してオーストラリア・シドニーでホームステイ及び語学研修を実施した。姉妹校アルフレッド・ディーキンハイスクールとの交流はオンラインで行った。 ・ホームページで生徒の活動を常時発信した。 ・参観授業をはじめ、富東祭、オープンスクール、人権コンサート、3年生のリサーチ＆リポートなど、保護者が参観できる機会を設けることができた。			

令和6年度

総括評価表

徳島県立富岡東中学校

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策	
重点課題	重点目標	評価指標・活動計画	評価	学校関係者評価		
〔2〕 学力向上への取組の強化と、中高一貫教育の円滑な実施	* 指導内容と指導方法の工夫改善	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	<p>○家庭学習を2時間するという目標はよいと思うが、2時間という数値に生徒が縛られているのではないか。どのような内容での2時間が求められているのか、質問内の仕方にについて工夫が必要ではないか。</p> <p>○中学校段階から、授業でわからないところを質問できる生徒を育成することが重要。これまでと違う新たな視点で、中高の連携を進めていくといふのではないか。</p>	
	* 生徒が意欲的に取り組む授業の創造と、生徒の確かな学力の育成	①相互授業参観を年間1回以上実施する。 ②授業に積極的に取り組む生徒90%以上。 ③平均学習時間1日2時間以上の生徒70%以上。 ④中高の教員が一体となって中高一貫の教育課程について検討する。 ⑤目標を立て、計画的に学習に取り組む生徒80%以上。	①年に2回以上の期間をそれぞれ設けて実施した。 ②〈生徒アンケート〉88% (前年度比3.4pt down) ③〈生徒アンケート〉41.3% (前年度比3.5pt up) ④中高一貫教育推進検討会を開催し、生徒の現状について情報を共有するとともに、中高一貫教育の特色を生かした教育活動について検討した。 ⑤〈生徒アンケート〉60.5% (前年度比0.8pt up)	A C C A C		
	* 中高教員が連携した計画的継続的な	活動計画	活動計画による実施状況	B (所見) ・授業への積極的な取組の項目については、昨年度より3.4ptダウン、平均学習時間1日2時間以上の項目については昨年度より微増した。宿題をきちんとしていると回答した生徒は昨年度と同じ92.2%であった。また、昨年度初めて実施した「目標をたて、計画的に学習に取り組んでいる」に肯定的な回答をした生徒は60.5%（昨年度59.7%）であった。学習の目的意識を持たせ、学習意欲の向上と家庭学習時間の増加につなげたい。 ・「富東タイム」では漢字学習、英語リスニング学習などを実施し、漢字検定や英語検定に多数合格するなど着実な成果があった。 ・RRCについては、年に4回実施した。不合格者には再テストを行うなどの支援を行った。 ・生活実態調査や学習状況実態調査を効果的に実施する。 ・教科学習を中心とした中高6年間のカリキュラム等について、中高合同の検討委員会等を開催して検討する。 ・中高合同の学力向上検討委員会等において、生徒の学力向上を図る授業の展開を検討する。		<p>○勉強の方法について、調べたり、考えたりする機会をつくる、</p> <p>○中高の交流について、生徒間だけでなく、生徒と教職員の交流も活性化できる取組を実施する。</p> <p>○キャリアパスポートを活用し、現時点での人生設計について考えることで、学習の目的意識を持たせるようにする。また、その学習意欲を家庭学習の向上につなげる。</p>

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策					
重点課題	重点目標	評価指標・活動計画	評価	学校関係者の意見						
[3] 特別活動の充実と「さわやかで活力あふれる富東」の精神の高揚	<ul style="list-style-type: none"> * あいさつ、マナー等の基本的生活習慣の定着 * 学校行事の活性化と生徒会活動の充実。 * 安全教育や防災教育の徹底と事故防止への取り組みの強化 * 生徒一人ひとりの人権感覚の向上 * 環境美化への努力と、環境問題解決の実践力の育成 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">評価指標</th> <th style="text-align: center;">評価指標による達成度</th> <th style="text-align: center;">総合評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ①あいさつがきちんとできる生徒 90 %以上 ②遅刻ゼロの生徒 95 %以上。 ③学校行事や体験活動に積極的に取り組む生徒 90 %以上。 ④生徒会を中心とした委員会活動を年間 5 回以上、生徒会による学校活性化イベントを年 2 回以上実施。 ⑤人権意見発表会や人権教育講演会等の実施。 ⑥教職員人権問題研修会を実施。 ⑦日々の清掃活動に積極的に取り組む生徒 90 %以上。 ⑧防災に関する全校的な取組を年 3 回以上実施。 </td><td> ①<生徒アンケート>あいさつをきちんとしている生徒 91 % (前年度比 4.3 ポイント up) ②<生徒アンケート>遅刻ゼロの生徒 94.6 % (前年度比 1.7 ポイント down) ③<生徒アンケート>学校行事に積極的に取り組む生徒 89.2 % (前年度比 0.5 ポイント down) ④委員会活動を年間 5 回以上実施するとともに生徒会が企画・運営するイベントの実施や生徒会新聞を発行するなど、学校行事の活性化を図った。 ⑤全校での人権意見発表会、講演会、人権映画鑑賞会や、各学年での出前授業等を計画的に実施した。 ⑥中高合同による人権問題研修会を実施した。阿南中学校区人権教育研究大会で公開授業を実施、教職員対象の人権講演会を行った。 ⑦<生徒アンケート>清掃に積極的に取り組む生徒 90.4 % (今年度よりアンケートを実施) ⑧中・高合同の避難訓練を 4 回実施。 </td><td style="text-align: center;"> B (所見) • 生徒アンケートで、「あいさつをきちんとしている」の項目に肯定的な回答をした生徒の割合が、昨年度と比較して増加している。 • 「毎日、遅刻せずに登校している」の項目に肯定的な回答をした生徒の割合が、昨年度と比較して、減少している。 • 「学校生活は楽しく充実している」の項目に積極的な回答をした生徒の割合は 94.0 % で昨年度と同じ割合であった。 • 人権意見作文発表会では、自分や身近な人権について深く考え、堂々と話すことことができた。また、学校で学んだ人権問題について、家庭で話す生徒が多い。これらのことから、生徒の人権意識の高さを感じることができた。 • 人権意見作文発表会や人権講演会では、熱心に耳を傾ける姿が見られ、感想文からも自分の考えを広げたり深めたりしていることがうたがえた。 </td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	①あいさつがきちんとできる生徒 90 %以上 ②遅刻ゼロの生徒 95 %以上。 ③学校行事や体験活動に積極的に取り組む生徒 90 %以上。 ④生徒会を中心とした委員会活動を年間 5 回以上、生徒会による学校活性化イベントを年 2 回以上実施。 ⑤人権意見発表会や人権教育講演会等の実施。 ⑥教職員人権問題研修会を実施。 ⑦日々の清掃活動に積極的に取り組む生徒 90 %以上。 ⑧防災に関する全校的な取組を年 3 回以上実施。	①<生徒アンケート>あいさつをきちんとしている生徒 91 % (前年度比 4.3 ポイント up) ②<生徒アンケート>遅刻ゼロの生徒 94.6 % (前年度比 1.7 ポイント down) ③<生徒アンケート>学校行事に積極的に取り組む生徒 89.2 % (前年度比 0.5 ポイント down) ④委員会活動を年間 5 回以上実施するとともに生徒会が企画・運営するイベントの実施や生徒会新聞を発行するなど、学校行事の活性化を図った。 ⑤全校での人権意見発表会、講演会、人権映画鑑賞会や、各学年での出前授業等を計画的に実施した。 ⑥中高合同による人権問題研修会を実施した。阿南中学校区人権教育研究大会で公開授業を実施、教職員対象の人権講演会を行った。 ⑦<生徒アンケート>清掃に積極的に取り組む生徒 90.4 % (今年度よりアンケートを実施) ⑧中・高合同の避難訓練を 4 回実施。	B (所見) • 生徒アンケートで、「あいさつをきちんとしている」の項目に肯定的な回答をした生徒の割合が、昨年度と比較して増加している。 • 「毎日、遅刻せずに登校している」の項目に肯定的な回答をした生徒の割合が、昨年度と比較して、減少している。 • 「学校生活は楽しく充実している」の項目に積極的な回答をした生徒の割合は 94.0 % で昨年度と同じ割合であった。 • 人権意見作文発表会では、自分や身近な人権について深く考え、堂々と話すことことができた。また、学校で学んだ人権問題について、家庭で話す生徒が多い。これらのことから、生徒の人権意識の高さを感じることができた。 • 人権意見作文発表会や人権講演会では、熱心に耳を傾ける姿が見られ、感想文からも自分の考えを広げたり深めたりしていることがうたがえた。	○中学校段階から、人権に関する取組が充実している。今後は、学校が与えるだけではなく、生徒たちが主体的に考えたり実践できる場を設けることが大切だと考える。 ○中高一貫校として、中学校入学から 6 年間を見通した継続的、かつ発達段階に応じた教育計画を立て、様々な人権課題を自分のことと感じて考え方とのできる生徒を育成する必要がある。	<課題> ○学校活性化に向けて、生徒が主体的に学校行事等に参加する雰囲気を醸成していく必要がある。
評価指標	評価指標による達成度	総合評価								
①あいさつがきちんとできる生徒 90 %以上 ②遅刻ゼロの生徒 95 %以上。 ③学校行事や体験活動に積極的に取り組む生徒 90 %以上。 ④生徒会を中心とした委員会活動を年間 5 回以上、生徒会による学校活性化イベントを年 2 回以上実施。 ⑤人権意見発表会や人権教育講演会等の実施。 ⑥教職員人権問題研修会を実施。 ⑦日々の清掃活動に積極的に取り組む生徒 90 %以上。 ⑧防災に関する全校的な取組を年 3 回以上実施。	①<生徒アンケート>あいさつをきちんとしている生徒 91 % (前年度比 4.3 ポイント up) ②<生徒アンケート>遅刻ゼロの生徒 94.6 % (前年度比 1.7 ポイント down) ③<生徒アンケート>学校行事に積極的に取り組む生徒 89.2 % (前年度比 0.5 ポイント down) ④委員会活動を年間 5 回以上実施するとともに生徒会が企画・運営するイベントの実施や生徒会新聞を発行するなど、学校行事の活性化を図った。 ⑤全校での人権意見発表会、講演会、人権映画鑑賞会や、各学年での出前授業等を計画的に実施した。 ⑥中高合同による人権問題研修会を実施した。阿南中学校区人権教育研究大会で公開授業を実施、教職員対象の人権講演会を行った。 ⑦<生徒アンケート>清掃に積極的に取り組む生徒 90.4 % (今年度よりアンケートを実施) ⑧中・高合同の避難訓練を 4 回実施。	B (所見) • 生徒アンケートで、「あいさつをきちんとしている」の項目に肯定的な回答をした生徒の割合が、昨年度と比較して増加している。 • 「毎日、遅刻せずに登校している」の項目に肯定的な回答をした生徒の割合が、昨年度と比較して、減少している。 • 「学校生活は楽しく充実している」の項目に積極的な回答をした生徒の割合は 94.0 % で昨年度と同じ割合であった。 • 人権意見作文発表会では、自分や身近な人権について深く考え、堂々と話すことことができた。また、学校で学んだ人権問題について、家庭で話す生徒が多い。これらのことから、生徒の人権意識の高さを感じることができた。 • 人権意見作文発表会や人権講演会では、熱心に耳を傾ける姿が見られ、感想文からも自分の考えを広げたり深めたりしていることがうたがえた。								
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">活動計画</th> <th style="text-align: center;">活動計画による実施状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会によるあいさつ運動の実施。 ・定期的に生活実態調査を実施する。 ・学校行事や体験活動を計画的に実施。 ・人権や環境問題について、生徒と保護者が共に学ぶ機会を設ける。 ・学年だよりやホームページ等を通じて、学校での人権教育や環境教育の学習内容を、保護者に向けて発信する。 ・日々の清掃活動に、生徒と教員がともに、意欲的・主体的に取り組む。 ・防災に関する全校的な取組を企画する。 </td><td> • 週に 1 回の挨拶運動を継続して実施した。また、生活安全委員会も 5 月と 11 月に毎週 1 回の挨拶運動を実施した。 • 年度当初の計画に沿って行事を実施することができた。 • 人権講演会に加え、人権意見発表会にも保護者の参加を呼びかけ、親子で人権について考える機会となった。 • 富東人権新聞を年 6 回発行し、中学生の人権作文等を掲載した。また、人権講演会や人権意見発表会の感想を、学年だよりに掲載した。 • 参観日には、全学級で人権学習を実施した。 • 生徒と教員が共に校内美化に向けて清掃活動に取り組んだ。 • 地震・津波、河川氾濫など、多様な災害を想定した避難訓練を、高校と連携を取りながら企画した。 </td></tr> </tbody> </table>	活動計画	活動計画による実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会によるあいさつ運動の実施。 ・定期的に生活実態調査を実施する。 ・学校行事や体験活動を計画的に実施。 ・人権や環境問題について、生徒と保護者が共に学ぶ機会を設ける。 ・学年だよりやホームページ等を通じて、学校での人権教育や環境教育の学習内容を、保護者に向けて発信する。 ・日々の清掃活動に、生徒と教員がともに、意欲的・主体的に取り組む。 ・防災に関する全校的な取組を企画する。 	• 週に 1 回の挨拶運動を継続して実施した。また、生活安全委員会も 5 月と 11 月に毎週 1 回の挨拶運動を実施した。 • 年度当初の計画に沿って行事を実施することができた。 • 人権講演会に加え、人権意見発表会にも保護者の参加を呼びかけ、親子で人権について考える機会となった。 • 富東人権新聞を年 6 回発行し、中学生の人権作文等を掲載した。また、人権講演会や人権意見発表会の感想を、学年だよりに掲載した。 • 参観日には、全学級で人権学習を実施した。 • 生徒と教員が共に校内美化に向けて清掃活動に取り組んだ。 • 地震・津波、河川氾濫など、多様な災害を想定した避難訓練を、高校と連携を取りながら企画した。	<方策> ○生徒会活動等をとおして、リーダーの育成を図る。	○各学年の生徒の実態に応じた学習すべき個別の人権課題について、講演会や体験活動などを取り入れ、主体的・体験的な学習活動をできるよう工夫していく。また、講演会等には保護者の参加も呼びかけるなど、家庭との連携をはかる。		
活動計画	活動計画による実施状況									
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会によるあいさつ運動の実施。 ・定期的に生活実態調査を実施する。 ・学校行事や体験活動を計画的に実施。 ・人権や環境問題について、生徒と保護者が共に学ぶ機会を設ける。 ・学年だよりやホームページ等を通じて、学校での人権教育や環境教育の学習内容を、保護者に向けて発信する。 ・日々の清掃活動に、生徒と教員がともに、意欲的・主体的に取り組む。 ・防災に関する全校的な取組を企画する。 	• 週に 1 回の挨拶運動を継続して実施した。また、生活安全委員会も 5 月と 11 月に毎週 1 回の挨拶運動を実施した。 • 年度当初の計画に沿って行事を実施することができた。 • 人権講演会に加え、人権意見発表会にも保護者の参加を呼びかけ、親子で人権について考える機会となった。 • 富東人権新聞を年 6 回発行し、中学生の人権作文等を掲載した。また、人権講演会や人権意見発表会の感想を、学年だよりに掲載した。 • 参観日には、全学級で人権学習を実施した。 • 生徒と教員が共に校内美化に向けて清掃活動に取り組んだ。 • 地震・津波、河川氾濫など、多様な災害を想定した避難訓練を、高校と連携を取りながら企画した。									